

学年	高校3年	教科	理科	科目	化学演習	単位数	5
教科書名		化学 academia (実教出版)		副教材名	新編アクセス総合化学 (浜島書店)		
コース・クラス		N進理系					

I 目標

- 1 基礎学力到達度テストにおいて、得点率60%を獲得できる実力を身につけさせる。
- 2 演習問題を中心とした授業により、日本大学一般選抜レベルの計算力や応用力を身につけさせる。

II 授業のねらい

- 1 基礎学力到達度テストを意識した問題演習を多く取り入れ、実力を養う。
- 2 炭水化物、タンパク質、脂質を分子レベルで学び、理解を深める。
- 3 身の回りにあふれている高分子化合物（プラスチック、ゴム）などの理解を深める。
- 4 繊維、色素、洗剤を分子レベルで理解を深める。
- 5 化学基礎、化学の内容を、問題演習を通して総復習し、大学入試に対応できる力を身につける。また、理系私大入試において必要な応用力、思考力を身につけさせる。

III 授業の進め方

板書、問題演習を中心とする。また、実験を取り入れ、知識の定着をはかる。

IV 学習上の留意点

- 1 基礎学力到達度テストを意識し、問題集を中心とした演習を行うことが必要である。
- 2 常に身の回りの物質、現象を意識しながら学習を進める。これにより、幅広い知識の習得を心がける。

V. 定期試験

- | | | |
|-----|------|---------------------|
| 1学期 | 中間試験 | 基礎学力到達度テストの範囲（化学基礎） |
| 1学期 | 期末試験 | 基礎学力到達度テストの範囲（全範囲） |
| 2学期 | 期末試験 | 有機化合物、高分子化合物 |

VI 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組み方などで総合的に評価する。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	1、2年次の復習 問題演習 基礎学力到達度テスト対策	小テスト 中間試験 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 化学基礎、化学(無機化合物まで)の総復習を通して、基礎学力到達度テスト対策に対応できる実力が身についている。 基礎学力到達度テストで、得点率 50%を獲得できる実力が身についている。 	
	5				
	6				
	7				
二学期	9	基礎学力到達度テスト対策	小テスト 実験 提出物 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力到達度テストの予想問題、過去問を中心に演習を行い、得点率 60%を獲得できる実力が身についている。 有機化合物の質量分析ができる。 特定の官能基をもつ化合物の性質を正しく理解できる。 異性体を区別できる。 芳香族化合物の性質、合成法、用途を理解する。 高分子化合物が身の回りに密接に関わっていることを理解する。 全単元において、大学入試の過去問を解ける実力が身についている。 	
	10	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 酸素を含む有機化合物 芳香族化合物			
	11	有機化合物と人間生活 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活 問題演習			
		12			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。